

(二条城の価値を活かし未来を創造する会 第2回会議資料)

1 二条城運営に関する課題

(1) 文化財活用にあたっての課題

① 二の丸御殿活用にあたっての課題

模写画へのはめかえができていない障壁画（襖・天井・杉戸）は痛みが激しいため、保存環境に留意する必要がある。

② 屋根のある施設が少ない

現在の二条城 MICE プランでは、屋根のある施設が台所のみであり、雨天時の対応が難しい。

③ 施設整備にあたっての課題

施設の新設や形状変更、仮設物設置にあたって文化財保護のための制約が多い。

(2) 来城者向けサービスにおける課題

① 総合的な案内所がない

現在、東大手門脇で音声ガイド貸出し、管理事務所で車椅子の貸出し、大休憩所内及び出札にコインロッカー設置、大休憩所内に観光案内コーナー設置、と利便機能が分散していて使いづらい。

② 多言語案内や歴史・文化財説明が不十分

多言語による案内が不足している。また、城内の説明看板の内容が、二条城の歴史や文化的な価値を十分理解できる内容になっていない。

③ 休憩施設、トイレ、喫煙所の整備が不十分

城内のトイレの老朽化が進み、多機能トイレ含めたトイレの数も不足している。

また、城内はベンチが少ない。さらに、喫煙所も2箇所（西橋休憩所・清流園休憩所）しかなく、分煙措置もされていない。

(3) その他

① 文化財以外の城内塀重門及び土塀の老朽化

二の丸御殿東塀重門、二の丸庭園西南土塀等の柱の腐朽や屋根、壁等の破損が顕著になっている。瓦の落下や倒壊の恐れもある。

② 土蔵等の漆喰壁補修

本格修理の順番待ちで土蔵、北大手門等の漆喰壁の補修ができていない。

③ 電源が少ない

電気の容量が必要最低限しか確保されていない。また、電源の供給が城内東側に偏っているため、西橋休憩所、本丸、桜の園、清流園などでのイベント使用に耐えられない。

④ 城内の倉庫スペースの不足

倉庫スペースが不足しているため、土蔵等の文化財を倉庫代わりに使用しているが、保存環境が悪く、制約も多い。

⑤ 樹木の更新ができていない

定期的な樹木の剪定や植樹、堀・池の水質管理に要する経費を確保する必要がある。

⑥ 耐震も含めた膨大の修理事業の財源の確保

平成23年度から約20年の歳月をかけ、耐震化も含めた一大修理事業に取り掛かっているが、総事業費を約100億円と見込んでおり、国庫補助金や、募金など、財源の確保が必要である。

2 今年度予定している主な事業

(1) ソフト事業

① 多言語リーフレットの充実

現在、日本語以外は英・中・韓の3か国語が一冊になったもので対応しているが、言語毎に作成し、内容を充実させるとともに、言語数の増を図る。

② 御殿内を含む城内案内サイン（説明板等）更新

二条城の歴史や文化的価値について、より理解を深めることができるよう、城内の説明看板（御殿内含む）の内容の更新や、老朽箇所の修繕・更新を行う。

③ 大政奉還150周年二の丸御殿調度品整備事業

来年の大政奉還150周年に向けて、二条城のおもてなし機能強化の

一環として、二の丸御殿大広間他の展示人形化粧直し、衣装新調、畳新調等を行う。

④ 元離宮二条城「築城４００年記念 展示・収蔵館」展示事業

修理を完了し、展示・収蔵館に保管している障壁画の原画を順次展示公開している。６０日間ずつ４期に分けて、テーマを設定して展示事業を行う。

⑤ 桜の充実（二条城ライトアップ対応）

春の二条城の桜ライトアップに対応するため、樹勢が衰えている桜の補植と植替えを行う。

⑥ プロモーションビデオ制作

新緑、紅葉、雪、桜といった四季折々の二条城の魅力をドローン及び通常のビデオカメラにより撮影し、プロモーションビデオを制作する。

（２）ハード事業

① 世界遺産・二条城本格修理事業

平成２３年度からおよそ２０年の歳月をかけ、２８棟の文化財建造物を中心に城内の歴史的建造物の修理や整備を行っている。

・東大手門及び附多門塀保存修理工事

平成２６年度から３ヵ年度で、屋根瓦の葺替え、小屋組の一部部材の取替え、壁の塗り替え及び耐震補強等の工事を行っている。最終年度である今年度は、屋根工事、左官工事、建具工事等を進め、本年１２月から素屋根を解体し、来年３月に竣工を予定している。

・番所保存修理工事

平成２７年度から３ヵ年度で、屋根瓦の葺替え、壁の塗り替え、床組や庇の木部の補修等の工事を行っている。今年度は、屋根工事、左官工事、木工事等を進め、本年１２月から素屋根を解体する。その後も屋内の工事等を進めて、来年６月に竣工を予定している。

② 二の丸御殿障壁画の保存修理事業

重要文化財の指定を受けた障壁画 1,016 面の劣化、損傷を防ぎ、恒久的に保存するための修理を行い、原画は展示・収蔵館へ保管している。

今年度は第3次5ヵ年計画の初年度として、本格修理25面、応急修理19面、来年度は本格修理24面、応急修理12面を対象としている。

③ 二の丸御殿障壁画の模写・はめかえ事業

二の丸御殿障壁画の保存修理事業と並行して、障壁画を作成時の絢爛豪華な状態で鑑賞していただくため、模写画を作成し、はめかえる取組を進めている。今年度は、模写制作14面、はめかえ26面、来年度は模写制作14面、はめかえ20面を予定している。

④ 東側空間整備事業

二条城の玄関口である東側空間の景観、歩行者等の通行の安全性等を改善するため、駐車場を含む整備を本年12月から行い、来年9月に竣工を予定している。

⑤ 清流園トイレ修繕

老朽化している清流園トイレについて、美装化や洋式化を実施する。

(参考) 平成29年度予定事業

① 本丸御殿保存修理工事

来年度から5ヵ年計画で、本丸御殿4棟の修理と耐震補強の工事を併せて行う。初年度となる来年度は、台所及び雁之間の建物修理や障壁画の修理等を進める予定である。